

# YAMALUBE®



## インジェクション & キャブクリーナー



内部の汚れを除去  
分解不要の洗浄  
触媒車対応

Japanese specification

4



\*



\*

キャブレターやインジェクション内や燃焼系に付着したガム質、ワニス、カーボン等を洗浄、除去します。 第4類第1石油類 72ml 危険等級Ⅲ 火気厳禁

製品名	インジェクション&キャブクリーナー
用途	モーターサイクル用インジェクションやキャブレターに付着した汚れの除去
形式	エアゾール
成分	石油系溶剤、アルコール、噴射剤
表示成分	イソプロピルアルコール、セロソルブ、トルエン、メタノール、メチルイソブチルケトン、メチルエチルケトン

危険有害性情報



危険

●極めて可燃性/引火性の高いエアゾール●高圧容器。熱すると破裂のおそれ●皮膚刺激●強い眼刺激●運送性悪悪の虫の害●発がんのおそれの疑い●生殖系統への悪影響のおそれ●呼吸器の障害のおそれ●長期にわたる、または反復暴露による臓器の障害●飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ●水生生物に有害



破裂性注意

●全ての説明書きを読み、理解してから使用すること。●**吸入・飲用不可**。人体に害がありますので、吸入したり飲んだりしないこと。●保護手袋/保護眼鏡等を着用すること。●静電気に対する予防措置を講じること。また、火花を発生しない工具を使用すること。●使用後も含め、穴を開けたり熱したりしないこと。●裸火または高温のものに噴射しないこと。●熱/火花/裸火/高温のものによる着火源から遠ざけること。●使用時に喫煙をしないこと。●人体には使用しないこと。●臭気の強い状態で使用すること。●上記用途以外には使用しないこと。●缶を逆さまにした状態で使用しないこと。●キャップだけ持ったまま本体が落下する恐れがあるので注意すること。●シミや変色のおそれがあるので、衣服に付着しないよう注意すること。●塗装面やゴムなどに付着した場合は、変色等のおそれがあるので、すぐに洗い流すこと、拭き取ってください。

使用方法

(キャブレター及びスロットルボディをはずさないで使用する)方法①エンジンを5~6分暖気させてからエンジンを止めてください。②エアクリナー・カーブ及びエアクリナーを取り外してください。③キャブ及びスロットルボディの中(ノズル)を差込み、円を描くように1分程度した後、30秒程度放置してください。④エンジンを始動させ、1分程度スナビキで止めてください。⑤③を3回程度繰り返してください。⑥エンジン始動中のスプレー洗浄は絶対に行わないでください。⑦エンジンを止めてエアクリナーを取り付けてください。⑧使用後のアイドリング調整を必要とすることがあります。必要に応じて、調整を行ってください。⑨上記の使用手順の不手際による不具合、損害は責任を負いません。⑩使用後は、キャップを洗い、芯けんできよく手を洗ってください。⑪本で洗浄してもエンジン不調が直らない場合は、別の原因が考えられますので販売店にご相談ください。

緊急時対応

●万一飲み込んだ場合は、吐き出さず、医師の診断を受けてください。●誤って目に入った場合や皮膚に付着した場合は、直ちに清水で15分以上洗浄し、異常のある場合は、医師の診断を受けてください。●使用中に気分が悪くなった場合は、直ちに使用を中止し、換気の良い所で安静にしてください。気分が回復しない場合は、医師の診断を受けてください。

廃棄方法

●子供の手の届かないところに、施設して保管してください。●保管の際は、直射日光の当たる所、40℃以上になる所、火気の近くや錆びやすい水・湿気の多い所に置かないでください。●業務に使用した際は、内容物や容器、キャップ、使用した布やブラシ等の廃棄は、都道府県知事の認可を受けた専門の廃棄物処理業者へ業務委託してください。●個人で使用した際は、中身を使い切ってから火気のない屋外で、右記のガス抜きキャップ使用方法に基づいて、噴射音が消えるまでガスを完全に抜いてから、地域の法令に従って廃棄処理してください。

販売元 株式会社ワイスギア 静岡県浜松市南区新橋町1103 TEL 0570-050814

## 火気と高温に注意

高圧ガスを使用した可燃性の製品であり、危険なため、下記の注意を守ること。  
①炎や火気の近くで使用しないこと。②火気を使用している室内で大量に使用しないこと。  
③高温にするや破裂の危険があるため、直射日光の当たる所や火気等の近くなど温度が40度以上となる所に置かないこと。④火の中に入れてはいけないこと。⑤使い切って捨てること。  
高圧ガス：LPG



キャップ：PP  
ノズル：PE, M  
フィルム：PP



ラベル スチール：容器

MADE IN JAPAN  
NET 180ml

国連番号 1950  
指針番号 126

株式会社 ワイスギア

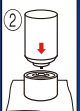
### ガス抜きキャップの使用上の注意

●必ず中身を使い切ってから行ってください。●火気のない屋外で行ってください。●ガス抜きキャップ付き商品以外には使用しないでください。

### ガス抜き方法

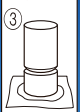


① スプレーボタンを押し抜きます。



②

ウエス等でキャップの天面側の穴(ノズル)を合わせて缶を押します。  
※スプレーの残液により、ウエスの下まで汚れる恐れがありますので使用場所に注意してください。



③ 噴射音が消えたら数分そのまま放置後、缶に油性ペンで「ガス抜き済み」と表示しキャップと缶を分別廃棄してください。